

四条通（烏丸通～川端通間）の整備について

～ 人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通の実現 ～

京都市では、暮らす人も、訪れる人も「京都に住んでいてよかった」、「京都に来てよかった」と誰もが“歩・歩・笑み”を浮かべるまち京都であり続けるため、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進しています。

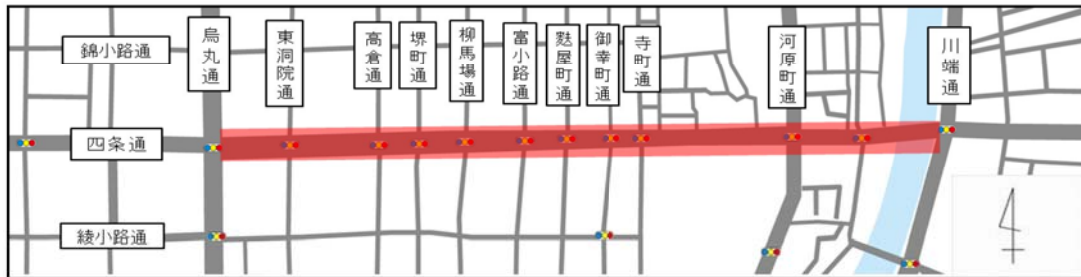
そのための重要事業である四条通（烏丸通～川端通までの区間）の整備については、公共交通が優先して走れる道路とするとともに、歩道を拡幅する計画を進めています。この度、平成 24 年 1 月に、学識経験者や市会議員、関係行政機関などで構成された京都市都市計画審議会での承認を得て、四条通の整備を都市計画決定しましたので、その内容をお知らせします。今後、四条通の詳細な設計等を実施します。皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。

都市計画決定（平成24年1月27日）の主な内容

○区域：四条烏丸～四条川端 約 1,120m

○車線の数：2 車線 ※現在の4車線から車線を減少させ歩道を拡幅します。

○道路幅員：22m ※現在の車道幅は 15m、歩道幅は 7m（片側 3.5m）



整備目的

- 歩道拡幅により、安心・安全な歩行空間を確保し、バスを待つ空間を拡大します。
- バスの乗降をしやすく、バスと鉄道の乗継を便利にします。
- 公共交通の利便性を高め、都心の商業施設等へ行きやすくし、まちの賑わいの創出を図ります。

整備内容

- バス停：分散しているバス停を西行き、東行きとも四条河原町と四条高倉にまとめます。
複数台が同時に停車できる長さで、歩道から張り出したテラス型とします。
- 駐停車スペース：タクシー利用者の乗降や荷物の積卸ができるスペースを設けます。
- 歩道拡幅：現在の片側 3.5mの歩道を、5.25m（1.75m増）に拡幅することを基本とします。
※歩道幅は、バス停部や交差点付近など、必要に応じて増減します。

【イメージ図】

